



## KYUSHU DESIGN CHARRETTE 2023 REPORT

## 九州デザインシャレットとは

九州デザインシャレットは、将来まちづくりや建設分野に携わる様々な専門分野の学生・若手技術者を対象に、実際のまちづくりの課題に集中して取り組む機会を提供し、専門家の指導の下で、異分野との共同作業を体験させ、現代の要請に適った人材を育成することを目的とする。

加えて、この体験を通じてその後も切磋琢磨しあえる仲間と出会い、その人的ネットワークが九州、全国に広がっていくことも、これから九州、日本の美しい風景を守り、新たな文化価値を生むための大きな力となるはずである。

また、地元で進められているまちづくりの取り組みに対しての話題提供となることも期待できる。

\*シャレットとは：シャレット (charrette) は仏語で「荷馬車」という意味です。仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から、短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われています。



## テーマ

## まちの中心をリ・デザインする

戦後、焼け野原からの復興を目指し、博多商人たちによってつくられた新天町商店街は、西鉄福岡駅北口から西通りや大名エリアに向かって伸びる西日本初のアーケード型商店街であり、飲食店や雑貨店など約100店舗が連なっている。当時の面影も残り、初売りや創業祭といったイベントが一年を通して開催されるなど、長年市民に愛されてきた場所である。

一方、周辺では再開発によって、大名ガーデンシティや天神ビジネスセンターの供用が開始、福ビル街区等の工事が進んでいる。これに対し、新天町では、敷地の一体化が計画されており、大規模な敷地を活かした施設の導入や立地を活かした新しい文化・芸術を感じられる複合施設の建設が検討されている。

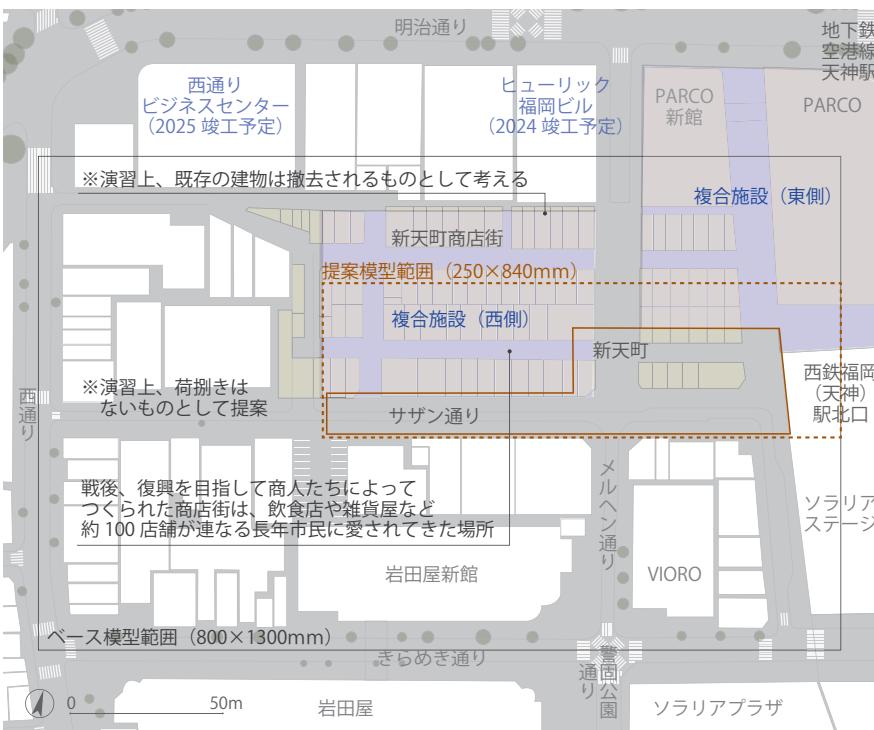
そのなかでも公共空間は、その土地で生活を営んできた人々や私たちにとって、そこにしかない多様な出会いに巡り合える空間で、舞台でもある。特に、中心性の高い天神エリアは、公共空間をまちの共用部として持続・再生する重要性が高いものと捉えられる。以上を踏まえ、九州デザインシャレット2023では新天町周辺を対象として、まちの中心をリ・デザインすることをテーマとした。

## 対象地と

九州随一の繁華街エリアに位置する

## 演習課題 「新天町および隣接するサザン通りの公共空間」

本演習では、こうした背景ならびに周辺の変化もふまえ、新天町および隣接するサザン通りにおける公共空間の将来的なビジョンを示し、建物のセットバックや広場自体の広さ、通りとの一体的な利活用などを含めたデザイン提案（計画図・1/200模型等の作製）を行う。



## 指導講師

風景デザイン  
研究会（主催）

柴田 久  
福岡大学  
景観まちづくり研究室



星野裕司  
熊本大学  
景観デザイン研究室



田中尚人  
熊本大学  
地域風土計画研究室



高尾忠志  
地域力創造デザイ  
ンセンター



石橋知也  
長崎大学  
環境計画研究室



増山晃太  
風景工房



尾野 薫  
宮崎大学  
地域交流デザイン研究室



池田隆太郎  
福岡大学  
景観まちづくり研究室

## ゲスト講師



吉村純一  
プレイスメディア  
ランドスケープアーキテクト



田中智之  
熊本大学  
田中智之研究室：建築家



山下裕子  
ひと・ネットワーククリエイター  
広場ニスト



黒瀬武史  
九州大学  
都市設計研究室：建築家



女鹿裕介  
プレイスメディア  
ランドスケープアーキテクト



吉海雄大  
益城町地域おこし協力隊  
建築



荒牧正道  
We Love 天神協議会



福田忠昭  
We Love 天神協議会  
ローカルアンドデザイン



福本拓真  
We Love 天神協議会  
Local Knowledge Platform

## プロセス

8.28 月	8.29 火	8.30 水	8.31 木
事前準備	Lecture: 田中智之 ビジョン・コンセプト・ デザインのつなげかた コンセプト メイキング	Lecture: 柴田久 デザインスタディに向けて 計画図検討 デザイン スタディ	提案模型 プレゼン準備
会場集合	昼食	昼食	昼食
ガイダンス	Lecture: 星野裕司 “秩序”を創出する	Lecture: 吉村純一 心に働きかける 多様な場づくりのために	プレゼン準備
Lecture: 山下裕子 田中尚人 つながりと余白、3間を言葉に	コンセプト メイキング	デザイン スタディ	エスキス
現地踏査 解説: 黒瀬武史	計画図検討	提案模型 検討・作製	講師・関係者 による講評会
調査結果報告 空間と アクティビティ	デジタル マッピング	エスキス	エスキス
懇親会	エスキス	デザイン スタディ	撤収作業
		提案模型 検討・作製	懇親会 (有志)



## 最終講評会



## 評価の視点

- ◇都市における広場のあり方・・・福岡市天神のまちにおける対象広場の役割がよく考察されていて、それに対応した空間デザインや運営イメージが提案されているか
- ◇デザインの地域性、魅力・・・福岡市天神のまちにふさわしい魅力的なデザインが提案されているか
- ◇提案の新規性、独創性・・・公共空間の現状を打破するような新しい、チャレンジングな提案がされているか
- ◇プレゼンテーションの質・・・時間内に、わかりやすく、自分たちの提案を伝えることができたか  
計画図や模型がわかりやすくつくられているか

**group A**

vision

商業とビジネスが混じり合う新天町の入り口

concept

秩序の中で個性があふれ出す街路

北嶋 萌絵：千葉大学大学院 庭園デザイン学研究室 M2  
 西田 公士郎：日本大学 工学部 B3  
 松尾 紘渡：九州大学大学院 黒瀬研究室 M1  
 宮川 朗：岐阜大学 都市景観研究室 B4  
 若松 雄希：熊本大学大学院 景観デザイン研究室 M1  
 星原 笑里：株東京建設コンサルタント 地域環境部

風 研 賞

WLT 賞



## group B

## vision

居場所づくり&安心感を継承した社交場

## concept

スモールスケールの連続 / 思い思いの時を過ごせる場とアクティビティのにじみだし

佐藤 祐月：中部大学 工学部建築学科 B3

新久保 委：福岡大学大学院 景観まちづくり研究室 M1

須田 真理：名古屋市立大学大学院 大野暁彦研究室 M1

田浪 慎也：東洋大学 社会システムマネジメント研究室 B4

花城 美紗妃：長崎大学大学院 環境計画研究室 M1

百武 恭司：株日本設計 企画推進部



## group C

ゲスト賞

## vision

- ・新しい人を受入れ、今いる人を追い出さない
- ・商業とオフィスの緩衝帯づくり
- ・移動性の多層化・帰りたくなる変わらない場所

## concept

選択できるバッファーゾーン

海老鼻 拓見：中央大学 都市システム研究室 B4

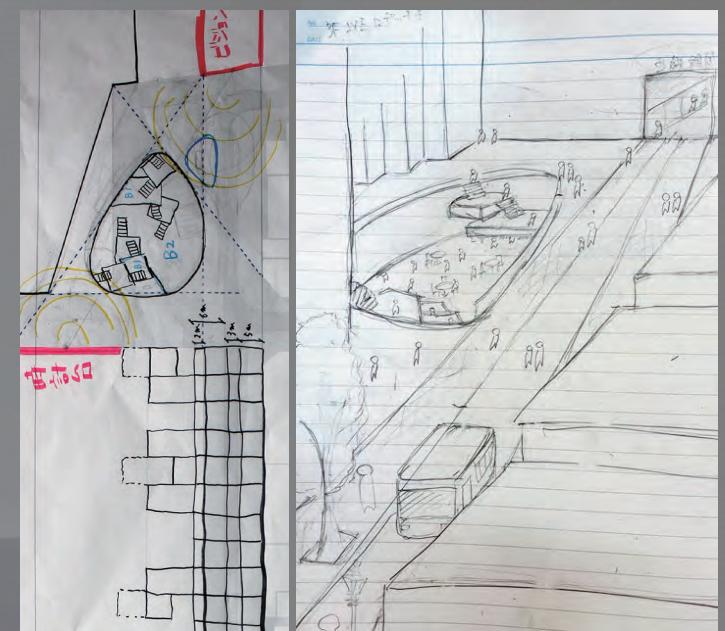
小井川 美衣：東北大学大学院 空間デザイン戦略研究分野 M1

緒方 陸人：早稲田大学大学院 景観・デザイン研究室 M1

山根 春佳：九州大学 工学部土木工学科 B3

西原 敬人：福岡市役所 西区地域整備部土木第2課

早坂 環：株倉掛設計事務所 デザインディレクター



## group D

## vision

人と空間における新旧のまじりあい

## concept

曲線のやわらかさ・あたたかさが  
惹きつけるマイホームタウン

清水 龍太郎：熊本大学 地域風土計画研究室 B4

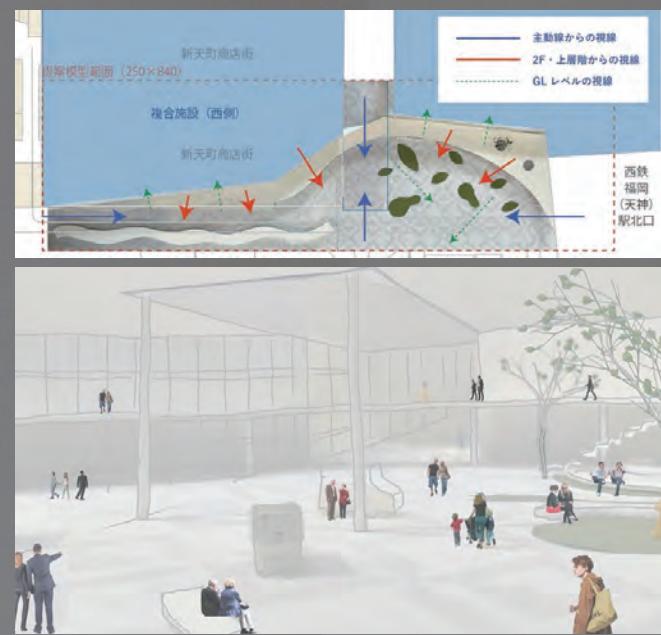
土屋 謙太郎：関西大学 景観研究室 B4

中尾 陽南子：九州大学大学院 黒瀬研究室 M1

南谷 優太：東京理科大学大学院 伊藤香織・都市計画研究室 M1

岡部 貴大：九州建設コンサルタント(株) 事業推進室

柴田 りつ：ケース・リアル㈱ 広報・設計補佐



## group E

## vision

点と点から線や面をつくる可能性を生み出す

## concept

- ・駅からつなぐデッキの抜け道アクセス
- ・たまり場を増やし「まちの駅」にする

池田 晴樹：九州大学大学院 趙研究室 M1

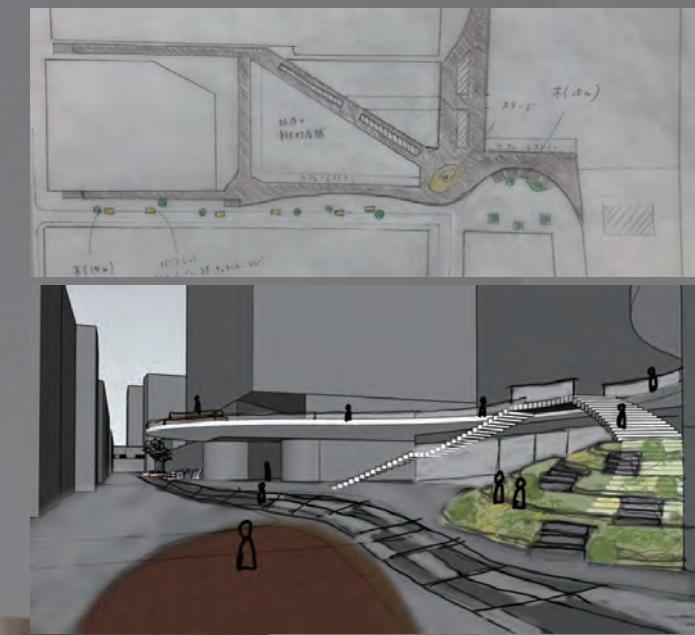
石川 遼太郎：高知工科大学大学院 景観デザイン研究室 M1

和泉 航大：福岡大学 法学部法律学科 B2

大旗 望：法政大学大学院 景観研究室 M1

河野 愛美：熊本大学 工学部土木建築学科 B3

平野 智子：ことのはな合同会社 ひととてまデザイン



## 受講生の声

## A班



北嶋 萌絵 千葉大学大学院 庭園デザイン学研究室 M2

エスキスだけでなくグループワークの中も分析方法・表現方法など実務をされている方に直接アドバイスを頂けるという贅沢な環境で、リアルタイムで自分の改善すべき所を具体的に自覚し次の方法を試行していくことができました。また、地元の方のお話を聞く機会もあり、どこにでもその住民の方がいて、人々の幸せな暮らしのためにデザインがあるのだということを思い出せました。土木や建築など多分野の先生方や参加者がいながら全体的に温かい雰囲気で、初めて参加した私も楽しく学ぶことができました。設計に関わる具体的な作業法からこれから働く生き方まで、多くの先生方と話す中で考えを深められた4日間でした。



西田 公士郎 日本大学 工学部 B3

今回のシャレットに参加して、先輩方から現地調査の大切さを改めて学びました。これまで設計課題では敷地の現状や周辺の建物との関係性ばかりを気にしており、使用者の目線に立った現地調査があまりできていませんでした。今回、私のグループでは「溢れだし」に着目し、調査段階では、「溢れだし」が実際何センチ行われているかを実測するなどしました。このような緻密な調査が良い設計に繋がったと考えています。今回学んだことを今後の設計課題などに活かしていきたいと思います。



星原 笑里 (株)東京建設コンサルタント 地域環境部

模型製作経験も、デザインの授業も受けたことがなく、何もわからない中での参加となり、参加前は不安な気持ちでした。しかし、講師の方々からの熱心なご指導や、自分のつたない言葉の意見、アイデアに対しても理解し、取り入れようといったA班のみんなのおかげで、4日間走り抜けられたこと、講師の方々から評価いただけたことは自分にとって大きな財産になりました。シャレットでの経験をもとに、主体的に学ぶ気持ちを忘れず、立派な技術者になれるよう精進していきます。



松尾 紘渡 九州大学大学院 黒瀬研究室 M1

私たちのチームは誰かが強くチームを引っ張るのではなく、皆で話し合うプロセスを取りました。皆で悩み困難にぶつかることも多かったのですが、そこで討論がチームの共通認識、土台を作ることにつながり、最終日に役割分担をして作業をした際にも空中分解することなく、チームとして核をもった提案を行うことが出来たと考えています。チームの絆を深めることでメンバー1人1人の力が発揮され、チームとして良い方向に進むということを学ぶことが出来ました。



宮川 朗 岐阜大学 都市景観研究室 B4

九州デザインシャレットを経て、様々なバックボーンを持った方達と一つの提案を創り上げることができたことは自分にとってよい経験になったと感じています。私たちの班は最終日まで、ビジョンを固めることに時間の大半が取られ、思い描くようなデザインの提案までできていませんでした。そこで最終日、班員一人一人が自分できることを最大限やり、悔いのない最終発表をすることができました。A班のみなさん、講師の方々、シャレットに携わる全ての方々に感謝しています。



若松 雄希 熊本大学大学院 景観デザイン研究室 M1

素晴らしい講師陣と多様な仲間と濃密な4日間を過ごすことができて、とても有意義な学びを得られました。特に、エスキスなどの講師陣の僕らの伝えきれない部分まで汲み取ったアドバイスが、僕らの可能性を広げてくださり、将来像を想像しワクワクしながら取り組めたことがとても楽しかったです。また、多様な専門の仲間と共同作業を進めていく過程で、自分の強みやまだ伸び代がある部分も見えてきて、自分の現在地の把握にもつながったように感じます。

## B班



佐藤 祐月 中部大学 工学部建築学科 B3

異なる専門分野の観点をうまく融合させつつ、如何に自分たちが面白いと思うことや目指すまちの姿を追求していくか、という難しさを痛感しました。特に、様々なバックグラウンドを持った方々と議論し設計する機会は、普段身を置いている環境では認識できなかった自身の課題やデザインのアプローチを発見するものとなりました。参加した皆様と4日間を共に過ごしただけではなく、今後も関わることができるような関係を築けたことを非常に嬉しく思っております。



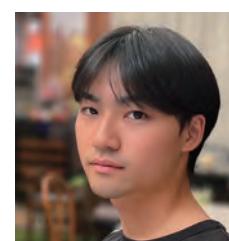
新久保 委 福岡大学大学院 景観まちづくり研究室 M1

今回九州デザインシャレットに参加して自分に何ができる何ができないのかをしっかりと認識することができました。また建築と土木の垣根、学生と社会人の垣根を越えて議論し、成果物をあげることができたのは今後の糧になるのとともに、今回できたつながりは今後に活きてくると思うので、なくさないようにしたいと思います。シャレットの4日間は難しく、大変な4日間ではありましたが、それ以上に楽しく、実りの多い4日間でもありました。



須田 真理 名古屋市立大学大学院 大野暁彦研究室 M1

建築・土木・ランドスケープ、異なる分野を学ぶ方々とグループを組み、ひとつの空間を考える経験は、各分野が持つスケール感を横断しながら設計するプロセスや、使う言語の異なる設計者同士で議論するという点においてとても有意義なものでした。また、私自身は遠方からの参加でしたが、「共通認識で持っている建築の捉え方」が地域ごとに違っていることに気づけたことも大きな収穫だったように思います。今後も設計することを全力で楽しみながら、自分はどの立場でこの業界に関わっていきたいのか、いけるのかを見つけたいと思います。



田浪 慎也 東洋大学 社会システムマネジメント研究室 B4

豪華な講師陣からの指導を受けつつチームで設計課題に取り組み、制限時間内に成果物を完成させる経験は非常に貴重でした。実際に対象地域を訪れ、メンバーと熱心な議論を交わしながらビジョンからコンセプト、デザインにする試みを繰り返しました。私はこのプロセスを通じて空間にアイデアを表現する難しさを痛感しました。また、他のチームの個性豊かなアイディアや視点から多くの学びがあり、異なるバックグラウンドを持つ人達との交流も楽しい経験でした。



花城 美紗妃 長崎大学大学院 環境計画研究室 M1

学んできた分野が違う色んな大学の学生や社会人の方と、ひとつの課題に取り組むことで、様々な視点からの発見がありました。また、それぞれ得意なことや不得意なこともあります。自分がグループの中でどういう役割ができるかを考えたり、このシャレットを通して新しく身につけたい技術や思考などを見つけることもできました。成果物に対して思い残したことたくさんありますが、それ以上に楽しかったです。シャレットで知り合ったみんなとまた新しい取り組みが出来たらと思います。



百武 恒司 (株)日本設計 企画推進部

参加したかったシャレットに参加でき、結果他の人にも参加を強く進めたくなるとても充実した4日間でした。濃密で、本当に学びが多く、贅沢過ぎる講師陣・講義・講評がありがたく、日々の仕事で忘れていた熱量や思考の幅、自分が学生の時に抱いていた純粋な気持ち等を思い起こす良い機会になりました。参加者は同志という言葉がぴったりで、関係者・参加者の皆様には感謝の念がつきません。これから色々な場所で頑張る皆さんに負けないよう、自身も頑張っていこうと思います！

## C 班



海老鼻 拓見 中央大学 都市システム研究室 B4

4日間という短い期間でしたが大変お世話になりました。知識、技術、人間性ともに不足している身ですが私の考え方や話を聞き、議論をしてくれた班員の方にはとても感謝しております。講師の先生方も私たちの話や考え方を率直な形で多分に汲み取って下さり、短い時間の中で私たちの考え方や思いを形にする素晴らしいサポートをしてくださいました。もし機会があれば、来年度以降も参加させて頂きたいと思っております。



小井川 美衣 東北大学大学院 空間デザイン戦略研究分野 M1

期待以上に楽しくてしんどくて学びのある4日間でした。先生方の講義に引き込まれ、様々な分野から集まったグループの皆さんに刺激され、ほぼ初めての天神の街に魅了され、わくわくしながら課題に取り組むことが出来ました。タイムマネジメントやデザインへの落とし込み方など反省点は山ほどありますが、それも含めて大きな収穫です。今回出会った皆さんとまたお会いして生まれ変わった天神の街について語り合えたら最高だなと思います。



緒方 陸人 早稲田大学大学院 景観・デザイン研究室 M1

4日間、天神という一つのまちにしっかりと向き合うことができた、非常に貴重な経験でした。再開発によって大きくまちの形が変わっていく中で、公共空間が担う役割とは何なのか、考えるきっかけとなりました。また、提案の際には、ビジョン・コンセプトからデザインに落とし込むことの難しさを痛感しました。まずは線を引いてとにかく埋めることができた大事だと学んだので、今後デザインをするうえで肝に銘じたいと思います。Cチームの皆さんと学年や年齢関係なく議論ができるとても楽しかったです！



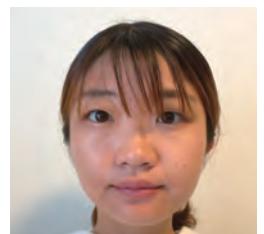
西原 敬人 福岡市役所 西区地域整備部土木第2課

2005年第1回シャレットに事務局として関わって以来、18年ぶりの里帰りとなりました。裏方の立場ながら当時の印象は強烈で、自分も手を動かしてみたい、そんな思いも持ち続けていました。今回受講生として参加でき、当時の熱気そのままに、夢のような時間は流れ…この春、17年間勤めた鉄道会社を退職し、市役所へ転職しました。40歳目前、悩んだ末の再チャレンジでした。人生の節目の年に、我がまちの中心でシャレットが開催され、里帰りもできた。未来に対しあらためて前向きな気持ちにさせてくれたこの機会に心から感謝しています。



早坂 環 (Hirashita Kō) ル・カ・ガ・ジ・事務所 デザインディレクター

社会人という立場もあり、ディスカッションする際は、経験者という立場で周りから見られるので、プレッシャーを感じながら、議論を進めていました。幸い私の班はメンバーに恵まれ、周りの意見を取り入れつつ、私の意見も採用されたりとなんとか形にすることができます。議論がまとまらない時は、先生達やスタッフ方にも助けられ、時間内にまとめることができ、とても感謝しております。今回は、建物ばかりに目がいき、肝心の公共空間の設計が疎かになっていたことが反省点です。建築の設計をする際も建物だけではなく、公共空間も含めて幅広い視点で設計していきたいです。



山根 春佳 九州大学 工学部土木工学科 B3

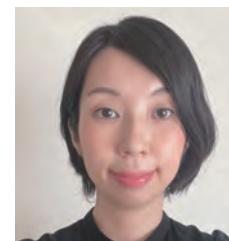
街頭やベンチの配置、さらには建物の形に至るまで、一つ一つずつ意味を持たせながら作り上げると広場空間が出来上がるというチリソモのような一連の流れを経験し、普段自分が通る公園などでもこれはなぜここにあるかを考えるようになりました。シャレットで自分の持ちえなかったアイデアや知識を沢山吸収できたので、今までよりも公園や建物への解像度が上がり、より行動範囲や予想が広がりました。どんどん他の世代、職業、地域の人とアイデアを共有していきたいと思います。

## D 班



岡部 貴大 九州建設コンサルタント(株) 事業推進室

天神を知って、見て、学んで、考えて、議論して、描いて、作って、伝えて、…とあつという間の4日間でした。参加者も講師陣も熱意のある方ばかりで、短期間ながらも楽しく有意義に空間デザイン等を学べました。土木・建築を学んだ方以外でも参加してほしい企画です。仲間とともに目標に向かってひたすら話をする、それだけでこれまで見てきた景色や風景が違って見えます。今回の経験を活かし、私は会社に貢献していきます。



柴田 りつ ケース・リアル(株) 広報・設計補佐

受ける前は今の年齢で受けて良いのか不安もありましたが、結果、このタイミングで参加できたことは本当に良かったと感じています。年齢や分野・地理的なバックグラウンドも異なるメンバーとのワークは想像以上の学びや気づきがあり、また多様なレクチャーは、自身の仕事の振り返りにもなりました。頭から煙出っぽなしの4日間。焦りと反省がてんこ盛りの毎日でしたが、走り切ったときの何とも言えない完走感を共有できた瞬間をあらためて感慨深く思います。



清水 龍太郎 熊本大学 地域風土計画研究室 B4

全国各地から学部学科、世代の異なる様々な方々とデザインの検討を行う上で多くのことを学べ、いい刺激を受けられました。特にグループにおいては、社会人の方々、学科の異なる先輩方、同じ学科の同級生から日々学ぶことばかり、濃密な時間を過ごせました。また、作業時間外の共に過ごした時間、たわいもない会話など4日間のすべての時間がとても楽しく、このグループで本当に良かったと感じました。更には、素晴らしい講師陣によるレクチャー・エスキス・グループワーク中のご助言など熱心に向き合っていただいたことにより、かなりのものを得られました。



土屋 謙太郎 関西大学 景観研究室 B4

多種多様な学生と社会人が一つの課題に向かって議論を重ねたという経験は、僕の価値観や考え方を大きく広げるものになりました。その中でも、自分の意見を述べる前に相手をきちんと理解するということの重要性を改めて学ばせてもらいました。天神関係者の方々の要求、グループメンバーが目指している方向性、先生方のアドバイスの意図、これらを曖昧なままではなく、きちんと理解したうえで初めて、自分の意見が価値を持つのだと身をもって体感しました。



中尾 陽南子 九州大学大学院 黒瀬研究室 M1

4日間あつという間でした。私は福岡住みですが、サザン通りの既存のイメージが強すぎることや、広場とそれに続く道という設計条件が難しいと感じたことから初日に新たな広場が生まれるイメージが全く湧きませんでした。グループワークでの議論は楽しい反面、時間のない中で形にしていくのは苦しさもありました。しかし、最終日に各班の提案を見て、サザン通りの可能性を感じたし、生まれ変わる新天町が楽しみだなと思いました。とても濃密な時間を過ごせたと思います。



南谷 優太 東京理科大学大学院 伊藤香織・都市計画研究室 M1

大学や専攻分野の垣根を超えた様々なバックグラウンドを持ったメンバーとの作業は沢山の刺激をもらえ、視野が広がったように思います。また、土木工学やランドスケープ、建築など様々な分野の専門家である先生方のレクチャーやエスキスは大学では経験できない貴重な経験でしたし、勉強になりました。この学びを今後の学生生活や社会に出た後も活かしていけたらと思います。チームメンバーや先生方、学生ボランティアの方々、短い期間でしたが本当にありがとうございました。

## 学会発表

九州デザインシャレット 2023 in 福岡天神の実施後には、12月8～10日に中央大学で開催された第19回土木学会景観・デザイン研究発表会にてポスター発表を行いました。

E班



池田 晴樹 九州大学大学院 趣研究室 M1

このシャレットには自分のスキルアップのために参加しました。実際に設計に関して自分の考えの足りなさや、表現の未熟さを感じました。このように自分の現在地を確認する意味でも非常に有意義な時間でしたが、それ以上に他分野、多世代の人たちとつながりができたこと、グループワークができたことが私にとって価値のあるものでした。また22年住んできて知った気でいた福岡の街をもう一度見つめなおし、その現状と可能性を考えることができたところも良い機会でした。



石川 遼太郎 高知工科大学大学院 景観デザイン研究室 M1

私はシャレットを通じて、限られた時間の中で作業を完結させることの難しさ、グループワークの難しさを学びました。グループ内での議論や全体へのプレゼンの際に、意見を分かりやすく伝えることに苦労しました。自分の思考を整理するためにお力添えをいただいた先生方、自分の意見に対して各々の意見をぶつけてくださった班員の熱意に恵まれた4日間でした。この場を用意してくださった先生方、スタッフの皆様、このイベントを通じて関わった皆様に心よりお礼申し上げます。



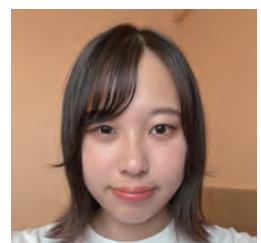
和泉 航大 福岡大学 法学部法律学科 B2

自分は、何も分からず状態でのスタートでとても不安がありました。しかし、班のみなさんや講師の皆さん生徒のみなさんが面白優しく接してくれたおかげで、とても有意義に過ごせました！内容は難しく感じましたが、班のみんなと協力して課題に取り組んでいくのはとても面白かったです！この経験は将来に絶対に活きるので、自分でもこの分野の勉強をしてより一層深く学んでいきたいと思います！楽しかったです！



大旗 望 法政大学大学院 景観研究室 M1

グループの皆さんのが積極的かつ協力的だったので、とても良い雰囲気で作業を進められることや、4日間という短い期間でグループの皆さんとデザイン案を完成させることができてとても嬉しかったです。講師の方々のエスキスやレクチャーはもちろんですが、グループ内での議論の中にも自分が知らない学ぶべき知識や考えが多くあり、様々な場面で学生と社会人で対等に意見を交わすことが出来たのはとても良い経験になりました。



河野 愛美 熊本大学 工学部土木建築学科 B3

このシャレットではとても良い刺激をもらうことができました。社会人、大学院生、学部生が同期として同じ課題に取り組むという新鮮な構図のおかげで、毎日新しい発見の連続でした。4日間という短い間でしたが、すごく贅沢で濃密な時間を過ごせたと思います。講師の先生方の手厚いご指導のもと、チームのみんなで切磋琢磨し、新天町という歴史ある町をデザインしたこの経験を、今後の学習の糧にして頑張っていきます。



平野 智子 ことのはな合同会社 ひととてまデザイン

まちづくり、建築、デザインの勉強を始めた21歳の頃の自分と同じ歳の学生さん達と一緒にグループワーク、最前線の現場で活躍する講師の先生方との講義とエスキス、「デザインシャレット」を通じて多角的な学びをいただきました。自分のこれから的人生において、どういう立場でモノ・ことに携わり、社会・世界に還元していくのかを考える良い時間でした。ここでいただいたご縁を糧にまた次の新しい創造や構想に向かい合い、一步一步また進んでいきたいです。

## 九州デザインシャレット 2023 in 福岡天神



池田隆太郎、高尾忠志、柴田大、星野裕司、田中尚人、石橋知也、増山晃太、尾野基（風景デザイン研究会）

様々な分野の学生・若手技術者を対象に、実際のまちづくりの課題に取り組む機会を提供。専門家指導の下、異分野との共同作業を体験させ、現代の要請に適した人材を育成する。この体験を通してその後も切磋琢磨しある仲間と出会い、その人的ネットワークが九州、全国に広がっていくことをめざす



### ① 地域に密着した課題 | まちの中心をリ・デザインする@福岡天神 新天町およびサザン通り



### 最終講評会 | 各班の成果品





主 催:風景デザイン研究会  
info@fukei-design.jp  
協 力:We Love 天神協議会  
発 行:2023年12月  
問合せ:高尾忠志  
(一社)地域力創造デザインセンター  
takaotadashi@icloud.com

九州デザインシャレット2023報告書